

# 甲斐市 議会だより

No. 26

平成23年2月25日発行



『風邪をやっつけよう!』 (平成23年2月1日撮影)

撮影者：小山 由城さん(竜地) 撮影場所：竜王中央保育園

## 今号の見どころ

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| ● 第4回定例会          | 2ページ  |
| ● 定例会の審査結果        | 5ページ  |
| ● 第3回臨時会の審査結果     | 6ページ  |
| ● 議会インターネット配信スタート | 7ページ  |
| ● ここが聞きたい一般質問     | 10ページ |
| ● 市民の声・議会傍聴記      | 32ページ |



KAI City

## 一般会計 補正予算のおもな事業

- **3種類のワクチン接種費用全額助成事業** **6,400万円(追加)**  
・子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の全額助成に伴う増額
- **障害者自立支援給付事業** **1億2,000万円(追加)**  
・非課税世帯のサービス利用分を増額
- **生活保護扶助事業** **3,240万円(追加)**  
・新規の生活保護世帯への支給分を増額
- **こども医療費助成事業** **2,530万円(追加)**  
・助成費不足による増額

## 定例会 人事

- 教育委員会** 任期満了(平成22年12月24日)にともない、新海 宏子 氏の選任(新任)に対し同意しました。
- 人権擁護委員候補者** 任期満了(平成23年3月31日)にともない、矢澤 豊晴 氏の推薦(再任)に対し適任であると決定しました。

## 表彰の伝達

定例会の初日(12月9日)に議員表彰の伝達式が行われました。

### 山梨県市議会議長会より

- 👑 猪股尚彦 議員(前議長)  
平成21年3月から22年4月までの議長職に対し「感謝状」を受領
- 👑 中込助雄 前議員(前副議長)  
平成21年3月から22年4月までの副議長職に対し「感謝状」を受領

## 請願審査結果

- ◆ 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書を採択しました。

### 【請願者】

甲斐市PTA連絡協議会	会 長	塚 原 卓 郎	【紹介議員】	池 神 哲 子
甲斐市公立小中学校長会	会 長	守 屋 博 文		
甲斐市公立小中学校教頭会	会 長	小 宮 山 齊		
山梨県教職員組合中巨摩支部	執行委員長	金 井 哲 也		

## 意見書

【12月20日、議会から国へ提出】

### (要約)

教育は、未来への先行投資であり、子どもたちがどこに生まれ育ったとしても、等しく良質な教育が受けられるために、教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させる必要があり、政府においては次の事項が実施されるよう要望します。

- 1 きめ細かな教育を一層推進するために、少人数教育の実現を中心とする教職員定数の改善を図ること。
- 2 義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- 3 こと。教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

## 12月補正予算

# 一般会計を 4億7,468万円増額

## 3種類(子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌)のワクチン接種費用は全額助成

### ● おもな歳入 (財源)

国 県 支 出 金	2億1,132万円
前 年 度 繰 越 金	1億7,694万円
合 併 特 例 債	4,440万円
基 金 からの繰入金	4,070万円
諸 収 入 ほか	132万円

### ● 一般会計補正予算

12月一般会計補正予算は、国県支出金、前年度繰越金、合併特例債などを財源に障害者自立支援給付費、こども医療費助成金、任意接種ワクチン助成金などの増額補正が提出され、全会一致で可決しました。

### ● おもな歳出 (使いみち)

民 生 費	障害者自立支援給付費・生活保護扶助費・こども医療費助成金・保育園、児童館のAED設置費などの増額	2億2,764万円
土 木 費	開発1号線・滝坂希望ヶ丘線・大袋大久保線の工事費・市営住宅解体工事費などの増額、 <b>用地費の減額</b>	1億 877万円
衛 生 費	子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌・日本脳炎・新型インフルエンザのワクチン接種費用助成金などの増額	9,566万円
教 育 費	小中学校施設整備費・私立幼稚園就園奨励費補助金などの増額	1,618万円
農 林 水 産 業 費	クラインガルテン滞在型施設の修繕費などの増額	1,562万円
消 防 費	峡北広域消防負担金などの増額	1,003万円
総務費・諸支出金	<b>国勢調査事業の減額</b> 、乳幼児チャイルドシート貸出事業・工業統計調査事業・クラインガルテン積立基金の増額	78万円

### ● 特別会計補正予算

特別会計名	補正額
国民健康保険	1,853万円
介護保険	1億2,339万円
下水道事業	3,221万円

# 平成22年 第4回定例会

平成22年第4回定例会は12月9日(木)から17日(金)の9日間の会期で開かれました。今定例会では、条例の一部改正、一般会計および特別会計補正予算案などが提出され審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では、15人の議員が市の対応や考えを問いました。

平成22年 第4回 定例会議案審査結果 平成22年12月9日・17日

採決により原案可決された議案（賛成多数）

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案名	創政甲斐クラブ(8人)	颯新クラブ(6人)	公明党(3人)	甲斐市民倶楽部(3人)	日本共産党甲斐市議団(2人)
議案第70号	甲斐市行政機構の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定の件	○7	○6	○3	○3	×2
議案第72号	甲斐市税条例の一部改正の件	○7	○6	○3	○3	×2
議案第73号	甲斐市公民館条例の一部改正の件	○7	○6	○3	○3	×2
議案第74号	甲斐市スポーツ施設使用料条例及び甲斐市社会体育施設条例の一部改正の件	○7	○6	○3	○2・×1	×2

※1人不足は議長

異議なしで原案可決された議案（全会一致）

議案番号	議案名
議案第69号	甲府地区広域行政事務組合規約の変更の協議の件
議案第71号	甲斐市テレビ共同受信施設設置条例の制定の件
議案第75号	平成22年度甲斐市一般会計補正予算(第5号)
議案第76号	平成22年度甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第77号	平成22年度甲斐市介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第78号	平成22年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第79号	指定管理者の指定の件(双葉ふれあい文化館)
議案第80号	指定管理者の指定の件(志摩の里ことぶきセンター)
議案第81号	指定管理者の指定の件(双葉高原団地し尿処理場)
議案第82号	指定管理者の指定の件(双葉登美団地地域し尿処理場)
議案第83号	指定管理者の指定の件(コミュニティーホール双葉)
議案第84号	指定管理者の指定の件(双葉集出荷所)

議案番号	議案名
議案第85号	指定管理者の指定の件(神明温泉志摩の湯、百楽泉、釜無川レクリエーションセンター)
議案第86号	指定管理者の指定の件(双葉共同福祉施設)
議案第87号	市道路線認定の件
議案第88号	市道路線変更の件
議案第89号	市道路線廃止の件
議案第90号	甲斐市の市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正の件
請願22-2号	教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書
意第3号	教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書の提出について
議案第91号	平成22年度甲斐市一般会計補正予算(第6号)
同意第6号	教育委員会委員の任命の件
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦の件

- |                             |                         |                             |                      |                        |                  |                                  |                    |                             |                      |                             |                             |                                  |                             |                             |                             |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|----------------------|------------------------|------------------|----------------------------------|--------------------|-----------------------------|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 副団<br>長<br>松<br>井<br>明<br>豊 | ●<br>日本共産党甲斐市議団<br>(2人) | 副会<br>長<br>池<br>神<br>哲<br>子 | ●<br>甲斐市民倶楽部<br>(3人) | 副代<br>表<br>藤<br>田<br>悟 | ●<br>公明党<br>(3人) | 幹事<br>長<br>山<br>本<br>今<br>朝<br>雄 | ●<br>颯新クラブ<br>(6人) | 副会<br>長<br>小<br>澤<br>重<br>一 | ●<br>創政甲斐クラブ<br>(8人) | 幹事<br>長<br>小<br>藤<br>宗<br>光 | 副会<br>長<br>猪<br>股<br>尚<br>彦 | 副会<br>長<br>長<br>谷<br>部<br>英<br>集 | 副会<br>長<br>山<br>本<br>英<br>俊 | 副会<br>長<br>米<br>山<br>勝<br>彦 | 副会<br>長<br>河<br>野<br>勝<br>彦 |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|----------------------|------------------------|------------------|----------------------------------|--------------------|-----------------------------|----------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

議会内会派の構成

10施設の指定管理者を決定

指定管理者の導入は、民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費削減などを図るためのもので、平成23年4月から28年3月までの指定管理者を次のとおり決定しました。

施設名	指定管理者	施設名	指定管理者
双葉ふれあい文化館	(財)やまなし文化学習協会	神明温泉志摩の湯	山梨交通(株)
双葉高原団地し尿処理場	双葉高原団地自治会	百楽泉	
双葉登美団地地域し尿処理場	双葉登美団地汚水処理施設管理組合	かまなしの湯 (釜無川レクリエーションセンター)	
コミュニティーホール双葉	梨北農業協同組合	志麻の里ことぶきセンター	
双葉集出荷所		双葉共同福祉施設	

条例の制定・改正

甲斐市行政機構の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

時代に即応した業務執行体制の確立、行政サービスの充実および効率化の推進を図るため、平成23年度から行政組織が、現行「10部32課80担当」から「10部30課75係」に変更されるため、関係条例の一部が改正されました。

平成23年度の行政組織（青字：変更箇所）

部等	課等	部等	課等
企画政策部	秘書政策課・企画財政課	建設産業部	建設課・都市計画課・農林振興課(農業委員会事務局)・商工観光課
総務部	総務課・人事課・消防防災対策室	上下水道部	上水道課・下水道課
市民部	市民窓口課・税務課・収納課・保険課	会計管理者	(会計課)
生活環境部	市民活動支援課・環境課 敷島支所 市民課・地域課 双葉支所 市民課・地域課	教育委員会事務局(教育部)	教育総務課・学校教育課・生涯学習文化課・スポーツ振興課・図書館
福祉健康部(福祉事務所)	福祉課・子育て支援課・長寿推進課・健康増進課	議会事務局(監査委員事務局)	

その他の条例の制定、一部改正

- 甲斐市テレビ共同受信施設設置条例の制定(地上デジタル放送の難視聴地域解消のためのもの)
- 甲斐市税条例の一部改正(前納報奨制度の見直し)
- 甲斐市公民館条例の一部改正(施設使用料の見直し)
- 甲斐市スポーツ施設使用料条例及び甲斐市社会体育施設条例の一部改正(施設使用料の見直し)
- 甲斐市の市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正(1月分の月給を1/10減額)

# 2/25から 議会インターネット中継をスタート

議会活性化の取り組みとして、議会の活動を広く公開するため、平成23年第1回定例会から議場で行われる会議の様子をインターネットにより、ライブ中継を配信します。また、録画中継も配信準備が整いしだい順次、配信いたしますので、ぜひご視聴をお願いします。

## 議会インターネット中継の見方

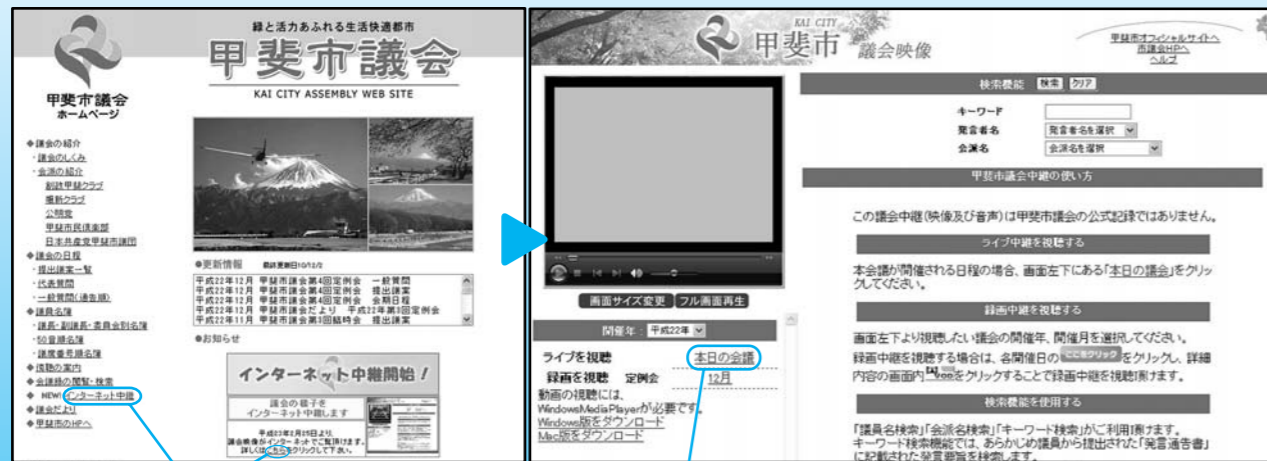
甲斐市議会

検索

## 甲斐市議会ホームページ

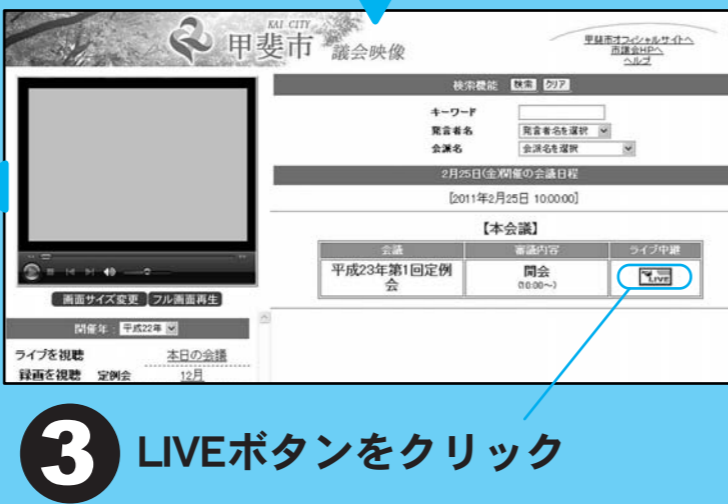
<http://gikai02.kaigiroku.jp/kai/>

### LIVE中継の見方：①～③とお進みください



**1** はじめに  
どちらかをクリック

**2** 本日の会議をクリック



**3** LIVEボタンをクリック

### ●議会インターネット中継の予

放映は、午前10時からを予定  
(3/18のみ午後2時からを予定)

※日程に変更がある場合  
もあります。

月	日(曜日)	内容	月	日(曜日)	内容
2	25(金)	本会議(開会)	3	7(月)	本会議(一般質問)
3	3(木)	本会議(代表質問)		8(火)	"
	4(金)	"		18(金)	本会議(最終日)

## 6月と12月のボーナスで

# 総額約4,100万円を削減

## 議会議員、市長、副市長、教育長、職員の 期末手当などの引き下げを可決

平成22年8月の人事院勧告に基づき、職員の月給を0.1%引き下げ、また、議会議員、市長、副市長、教育長、職員の諸手当(期末・勤労手当)の年間支給率を引き下げる条例改正議案などを可決しました。

項目	①改正前 (年間支給率)	②改正後 (年間支給率)	①-② 引き下げ月数
議会議員 (期末手当)	3.10か月	2.95か月	0.15か月
市長・副市長・ 教育長(期末手当)	4.10か月	3.90か月	0.20か月
職員 (期末・勤労手当)	4.15か月	3.95か月	0.20か月

## 平成22年 第3回 臨時会議案審査結果 平成22年11月26日

### 採決により原案可決された議案(賛成多数)

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案名	創政甲斐 クラブ (8人)	颯新 クラブ (6人)	公明党 (3人)	甲斐市民 倶楽部 (3人)	日本共産党 甲斐市議団 (2人)
議案第62号	甲斐市職員給与条例等の一部改正の件	○7	○6	○3	○3	×2
議案第63号	平成22年度甲斐市一般会計補正予算(第4号)	○7	○6	○3	○3	×2
議案第64号	平成22年度甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○7	○6	○3	○3	×2
議案第65号	平成22年度甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○7	○6	○3	○3	×2
議案第66号	平成22年度甲斐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	○7	○6	○3	○2・×1	×2
議案第67号	平成22年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○7	○6	○3	○3	×2
議案第68号	平成22年度甲斐市水道事業会計補正予算(第2号)	○7	○6	○3	○3	×2

※1人不足は議長

### 異議なしで原案可決された議案(全会一致)

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第59号	甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件	議案第61号	甲斐市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の件
議案第60号	甲斐市の市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正の件		

平成22年  
第3回臨時議会

平成22年第3回臨時議会は、11月26日(金)の1日間の会期で開かれました。  
今臨時議会では、「甲斐市職員給与条例等の一部改正」をはじめ提出された10議案を慎重に審査し、すべて原案のとおり可決しました。

総務教育常任委員会

12月15日開催

Q. 新年度の行政機構改革の狙いは

行政機構改革にかかる条例制定は、どこに重点を置いているか。

今回の機構改革は、住民サービスをより一層充実させることを目的としており、基本的には、窓口サービスの向上に大きなウエイトを置いている。できるだけ、庁舎一階でのサービス提供ができるよう配慮している。

Q. 税条例の改正は

個人市県民税と固定資産税に対する前納報奨金の廃止や変更による市民へ支払われる報奨金は、いくら減額になるのか。

個人市県民税の前納報奨金は、特別徴収（給与天引き）などで、制度利用できない方もいて不公平感が生じているために廃止し、固定資産税の前納報奨金は、預貯金の利息などの状況から変更するものである。減額となる報奨金の額は、平成21年度の決算ベースで試算すると約9、600万円の減額になる。

当日の審査事項

- 行政機構の改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
○テレビ共同受信施設設置条例の制定
○税条例の一部改正
○公民館条例の一部改正
○スポーツ施設使用料条例及び社会体育施設条例の一部改正
○平成22年度一般会計補正予算(分割付託)
○指定管理者の指定の件(双葉ふれあい文化館)
○市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正

Q. 公民館条例の使用料の改正は

新しい竜王北部公民館の貸し出しする会議室の使用料の根拠は。

旧三町が合併し使用料にばらつきがあったため、平成19年度に市内公民館の使用料を統一した。そのときにホールなどの特別室を除く会議室は、部屋の面積が55㎡以上の場合1,000円、55㎡未満の場合は500円と決めている。



2月末完成予定の竜王庁舎新館(3・4階が竜王北部公民館)

Q. スポーツ施設使用料条例の改正は

新しくなる双葉体育館の使用料が以前より600円値上げとなるが、その根拠は。

敷島体育館と同様なアリーナ面積となることから、敷島体育館と同じ料金設定(1,800円)とした。

今回は、第4回定例会で、各常任委員会へ付託された条例や補正予算(一般会計は分割付託)の質疑の一部を抜粋してお知らせします。

厚生環境常任委員会

12月14日開催

Q. AED人体模型の活用策は

補正予算で購入するAED訓練用人体模型の管理と活用方法は。

備品の管理は、子育て支援課で行い、児童館・保育園などへ貸し出して訓練を行う。



市職員AED講習会(講師:西消防署救急救命士)

Q. 新規生活保護の保護理由は

増額補正する新規の生活保護世帯数が49世帯との説明だが、その保護の理由は。

保護件数は、11月末で225世帯(3月末と比較すると新規が49世帯、廃止が10世帯)であり、新規の内訳は、傷病11件、障害2件、高齢8件、失業22件、DV3件、その他3件である。

当日の審査事項

- 平成22年度一般会計補正予算(分割付託)
○平成22年度国民健康保険特別会計補正予算
○平成22年度介護保険特別会計補正予算
○指定管理者の指定の件(志摩の里ことぶきセンター・双葉高原団地し尿処理場・双葉登美団地地域し尿処理場)

建設経済常任委員会

12月14日開催

Q. クラインガルテンの修理は

クラインガルテンの修繕費を補正しているが、ラウベ(滞在型施設)は、利用者の使い方によりテラスの腐食が激しいが、修繕はどのように実施していくのか。

テラスに防腐剤入りの塗料を塗り、腐食のあるテラスは、順次修繕を行う。



クラインガルテン「ラウベ」(滞在型施設)

Q. 市営住宅の取り壊しは

補正する市営住宅の取り壊しは、2棟であるが、それ以外の老朽化がかなり進んでいる住宅の取り壊し計画は。

老朽化の進んだ住宅は、火災や防犯面においても危険であるため、入居者の退去後に、取り壊しを行う。

当日の審査事項

- 平成22年度一般会計補正予算(分割付託)
○平成22年度下水道事業特別会計補正予算
○指定管理者の指定の件(コミュニティホール双葉・双葉集出荷所・神明温泉志摩の湯・百楽泉・釜無川レクリエーションセンター・双葉共同福祉施設)
○市道路線認定・変更・廃止の件



■ 颯新クラブ  
 込山 伸一 議員

## ウェルネスプロジェクト構想を

**市長** ▶ 地域ぐるみで健康づくりが実践できる「まちづくり」を目指す

**込山** ▶ 医食同源を行い、企業や大学とも連携を図り、地域の独創性を生かした新たなサービスやビジネスモデルをつくり出すことで、健康志向の向上が図られると思うが所見は。

**市長** ▶ 健康増進計画「健やか かい21」に基づき「子ども」「働き盛り」「高齢者」の各世代に適した目標を掲げ、提言のあった企業等との連携や地域資源の活用など、市民の皆さまがよ

り一層健康に高い意識を持ちながら心身ともに健やかな生活が送れる環境づくりを推進したいと考えている。

**込山** ▶ 都市計画の推進を図る上でも、効率的な医療等の集約は必要と考えられ、明確な拠点づくりは重要でもある。官民一体となった医療機関の集積を図り、医療とまちづくりを融合させ中長期的なビジョンについて所見は。

**都市建設部長** ▶ 本市の都市計画マスタープランでは、都市づくりの理念の中に市街地の拡散防止のために交通結節点を中心に、医療、福祉、産業などのさまざまな機能を複合的に配置、集積をさせて、市街地および各拠点の間を公共交通などで連結をさせて、一体的なコンパクトな市街地の形成を図ることを考えている。

### 「ウェルネス」とは…

栄養、運動、休養の調和を図り健康づくりを行うことがその目的のひとつで、単に身体健康づくりばかりでなく、日常の行動様式と生活態度を変容し、自分自身に適合した最高のライフスタイルを築くことを究極の目的とし、より充実した幸福な人生を得てゆこうというものです。



双葉西保育園の高齢者交流事業

**市長** ▶ 財政負担や国民健康保険への影響などを検討する必要があるため、来年度は、現行の制度を維持する。

**込山** ▶ 中学3年生まで子ども医療費助成制度の対象年齢拡大を要望するが所見は。

**市長** ▶ 介護保険法改正の動向等を注視し、世代間交流は、地域社会の活性化や高齢者の生きがいづくりからも重要と考えており、子どもたちと高齢者の交流を推進する。また、子どもたちは、高齢者からさまざまな経験を教わることで、豊かな感性を持って成長することを期待する。

**込山** ▶ 本市の高齢化率は、平成21年度で17・8%。今後、介護給付費の増加も見込まれ、介護保険サービスの具体的計画を図り、元気な高齢者との地域内交流を行うことで、子どもたちへの世代間渡しができる事業を創設するなど、希薄化した地域コミュニティの再生が図れると思うが所見を聞く。

**市長** ▶ 高齢者の生きがいづくりや子育て支援の充実を図る

## 少子・高齢化支援策の充実を

# 『一問一答方式』

◆ 15人の議員が市政を問う！

込山 伸一	議員	颯新クラブ	11	ページ
米山 昇	議員	創政甲斐クラブ	12	ページ
保坂 芳子	議員	公明党	13	ページ
小澤 重則	議員	颯新クラブ	14	ページ
山本 今朝雄	議員	颯新クラブ	15	ページ
樋泉 明広	議員	日本共産党甲斐市議団	16	ページ
山本 英俊	議員	創政甲斐クラブ	17	ページ
斉藤 芳夫	議員	甲斐市民倶楽部	18	ページ
藤田 悟	議員	公明党	19	ページ
池神 哲子	議員	甲斐市民倶楽部	20	ページ
有泉 庸一郎	議員	颯新クラブ	21	ページ
清水 正二	議員	颯新クラブ	22	ページ
坂本 一之	議員	颯新クラブ	23	ページ
名取 國士	議員	公明党	24	ページ
松井 豊	議員	日本共産党甲斐市議団	25	ページ

ここが聞きたい



第4回定例会の様子

# 一般質問(通告順・要約)

一般質問は、議員が議案とは関係なく、行政全般にわたり市長の考え方や市政の執行状況について説明を求めたり所見を問いただすものです。



■公明党  
保坂 芳子 議員

**市長** 現在の設置状況は、市役所庁舎や小中学校など41か所と警察署、消防署や民間事業所などで32か所に設置されている。今後の整備計画は、本年度、保育園・幼稚園・児童館の計20施設へ設置する予定で、今定例会で補正予算を計上している。

**保坂** AED（心臓救命装置）の設置状況および今後の整備計画は、

**市長** 今年度、保育園など20施設へ設置

市民の命を守る  
AEDの整備計画は



自動販売機に設置されたAED（竜王庁舎1階）

その他の質疑

Q 学校ICT推進のためデジタル教科書・デジタル教科書の導入を。  
A 来年度には、デジタル教材を活用できるよう進めている。また、デジタル教科書は、調査検討する考えである。

救急医療情報キットの導入を

**市長** 今後、関係団体や市民の意見を聞き導入の研究を行う

**保坂** 高齢者・障害のある方の安心・安全を守るために「救急医療情報キット」の導入の考えを聞く。

**市長** 今後、導入済みの自治体の状況などや消防署をはじめ、関係団体や市民の意見を聞き導入の研究を行う。

「救急医療情報キット」とは…

高齢者や障害者などの安全・安心の確保を目的に「かかりつけ医」「薬剤情報」「持病」「診察券(写)」「健康保険書(写)」「本人の写真」などを専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管し万一の救急時に備えるものです。

**保坂** 塩崎駅の夜間の安全対策のため、派出所の設置や夜間警備員の配置ができないか。

**市長** 歩道整備は、関係機関と協議を進めながら整備計画を検討

塩崎駅北側の通学路の安全確保を

**市長** 現在、塩崎警察署分署と塩崎駐在所が、双葉庁舎西側に配置されており既に施設との調整が必要であり、また、夜間警備員の配置も難しいと考える。

3種類の任意接種ワクチンは全額助成を

**市長** 国から詳細が示された段階で、遅滞なく実施する

**米山** 本市では、9月から県内では初めて「子宮頸がん」「ヒブ」「小児用肺炎球菌」のワクチン接種費用の3分の2の助成を開始したが、「子宮頸がん」は、本市を除く県内すべての市町村が無料化し、本市だけが親に負担をさせる結果となった。国では、平成22年度補正予算でこれらの接種費用の半額を国が助成する予算を成立させた。本市も今年度から3種すべての接種費用を無料化すべきと考えるが対応は、

**市長** 国のこの助成は、事業期間を平成22年度と23年度の2か年に限定し、市町村が助成する接種費用の2分の1を国が補助するものである。今後、国から詳細が示された段階で、遅滞なく実施できるよう対応する。

インフルエンザ予防接種費用の助成を中学生以下に拡大を

**市長** 財政的な問題もあり今後の検討課題とする

**米山** インフルエンザ予防接種費用は、本市では、低所得者への全額助成と65歳以上および60歳から64歳までの方で、呼吸器などに障害のある方を対象に自己負担を1,000円とする助成を行っているが、子育て費用負担の軽減と疾病予防対策として、助成を中学生以下の子どもにまで拡大する考えは、

**市長** 中学生以下への助成は、財政的な問題もあり今後の検討課題とする考えである。



■創政甲斐クラブ  
米山 昇 議員

子宮頸がん予防ワクチンの全額助成を

**市長** 遅滞なく実施できるよう対応する

**保坂** 国は、子宮頸がん予防ワクチンに対し2分の1の補助を行う見込みとなった。本市も父兄負担がなくなると考えていいのか。また、公費負担の年齢拡大の市の考えは、

**市長** 全額助成は、国の決定により遅滞なく実施できるよう対応するが、年齢拡大は、国や県の基準に準じ対応する考えである。



6歳未満のお子さんには、チャイルドシートの着用を

チャイルドシート貸出期間の延長を

**市長** 利用状況などを見極め対応する必要がある

**米山** 本市は、新生児から1歳6か月までを対象にチャイルドシートの貸し出しを行っているが、シートは6歳未満まで着用が義務づけられている。貸出期間の延長または購入費に対する助成を行う考えがあるか。

**市長** 長期にわたる貸与期間の是非や財政負担の検討、利用状況などを見極め対応する必要がある。

その他の質疑

Q 国の今年度補正予算で創設された「地域活性化交付金」の交付額とその用途は。  
A 具体的な活用策は、3月議会で補正予算案を示す。

※12・13頁の子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン助成は、今定例会の最終日に追加議案が提出され全額助成となりました。詳しくは、広報かい2月号の25頁でご確認願います。

専門職を導入した複線型人事制度を

市長▼専門的能力を持った人材の育成、活用を研究する

小澤 現在、我が市の体制は、行政職はおおむね3年を目的に異動が行われ、異動により職員が見識を広め、広く浅く、オールマイティな人材が育っていくと思うが、職員の負担は重く、管理職になるにつれ負担が増大している。そこで、専門職を置くことで負担の軽減を図り、将来に向け職員定数適正化にも対処し、多様化する事務作業にも反映されるものと考え。従来のライン管理職ポスト(総合職で管理職になる)以外の昇進の道を確認し、高度な専門知識を持った人材の育成は急務と考えるが、本市でも専門職を導入した複線型人事制度(専門職で管理職になる)を考える時期であると思うが所見は。

市長 複線型人事制度は、行政の多様化、高度化に対応するため、総合職だけでなく、スペシャリストを配置して行政運営を行う制度である。本市でも、甲斐市人材育成方針の中で研究すべき制度として位置づけを行っている。現在、保健師や保育士、栄養士、司書、土木技師などが専門職として業務に従事しているが、異動の際に職員から取りまとめる自己申告書の活用やヒアリングによって、各職員の希望も把握しながら、人事管理と本人の意欲を具現化することに努め、職員配置を行う考えである。今後は、ライン管理職ポストとあわせ、専門的能力を持った人材の育成、活用を研究する考えである。



小澤 重則 議員

小澤 複線型人事制度の導入により、例えば建築主事を置くことにより、建築確認申請は、間違いなく簡素化でき、いろいろなメリットが考えられ、また職員構成の高齢化に伴うポスト不足にも対応できるものと考えますが、建築主事などの専門職、技師等を置くポストとしては、どのような部署が考えられるのか。

総務部長 例えば建築主事を置いた場合は、建設課の建築開発指導担当に配置することになる。

小澤 今後の人事は、複線型人事制度も視野に入れながら、よりよい人事体系の確立を要望する。



県市町村職員研修所主催「メンタルヘルスマネジメント研修」



山本 今朝雄 議員

自転車専用レーンの整備や安全教育の充実についての考えは

市長▶まずは地域から要望の多い歩道の整備を優先する

山本▶市内の小中学生の接触事故等を含む交通事故の状況と自転車を利用することが多い小中学生、高校生および主婦に対して、主要な幹線道路以外の生活道路等の自転車専用レーンの整備や安全教育の充実をどう今後考えていくか聞く。

市長▶小中学生の自転車事故の多くは、左右安全の不確認や一時停止違反、信号無視などが原因と言われている。市としては、警察署および交通指導員等の協力をいただき小学1・2年生は、歩行・横断指導、3・4年生には自転車安全教室などを行い、交通安全指導を実施している。また、生活道路等への自転車専用レーンなどの整備については、まずは地域から要望の多い歩道の整備を優先する考えである。今後も、それぞれの過程に応じた交通安全指導を行い、交通事故の防止に取り組んでいく。



まずは整備を優先したい歩道設置

子育て短期支援(一時的に児童を短期間預かる)事業の実施を

市長▼平成23年度の事業実施に向けて必要な準備を進めていく

山本▶子育て中の保護者が病気や介護等により、一時的に家庭での子育てが困難になった場合、子どもたちが短期シヨートステイできるような施設整備や国および民間の施設を利用し、この事業を進めていく考えがあるか。

市長▶保護者の疾病、出産、転勤、出張、冠婚葬祭などの理由により、家庭で養育が困難となった児童を、乳児院や児童養護施設で昼夜を通して短期間預かるシヨートステイ事業は、昨年度に策定した次世代育成支援後期行動計画において、平成23年度までに実施する目標を掲げている。この事業は、児童養護施設等への委託により対応する考えであり、目標年次の事業実施に向けて必要な準備を進めていく考えである。

### 新年度の予算編成は「市民アンケート」・「市政アンケート」の反映を

**市長** ▶ 市民と行政が連携した「まちづくり」を進める考え

**樋泉** ▶ 新年度の予算は、第1次総合計画に基づく第2次行政改革の推進が予算に少なからず影響をしている。総合計画見直しに市が実施した「市民アンケート」や我が党（市議団）が調査した「市政アンケート」の市民要求をどう具体的に反映させるのか聞く。

**市長** ▶ 新年度の予算編成は、市税などの限られた財源を効果的に活用するため、後期基本計画に係る事業を重点事業として、効果や優先度を勘案して予算配分する。なお、事業実施に当たっても市民サービス向上の観点から再度総合的な検討を行い、引き続き市民と行政が連携した「まちづくり」を進める考えである。

### 小中学校の学校給食の無償化を

**教育長** ▶ 今後も応分の負担をしていただく考え

**樋泉** ▶ 学校給食は、学校給食法第11条を盾に徴収しているが、これは憲法に抵触するのではないかと私は考えている。他市などでは、学校給食を無償化して、義務教育の父母負担を軽減しているが、本市でも無償化すると同時に、国や県に無償で提供するように要求すべきと考えるが、見解は。

**教育長** ▶ 県外の一部の自治体では、少子化や過疎化対策などで無償化していることは、承知しているが、学校給食は、学校給食法により食材費などは、保護者が負担するものと定めているので、今後も応分の負担をしていただく考えである。



樋泉 明広 議員

### 本市独自の30人以下の学級編成を実施されたい

**教育長** ▶ 本市では、市独自に市単独教員を配置している

**樋泉** ▶ 現在、県内の小学校1・2年生には30人学級、中学校1年生には35人学級が導入され、いじめや不登校の減少、教師の目の行き届いた教育の成果を聞いている。県では、来年度から他学年にも拡大を検討しており、



竜王東小学校の授業の様子

**教育長** ▶ 本市では、市単独教員設置要綱により、（小学3年生は1学級の児童数が36人以上、中学3年生は1学級の生徒数が40人の場合には、学年に1人の）市単独教員を配置している。今後は、この制度を県の少人数学級の取り組みと連動させ、対象学年の拡大なども検討する考えである。

### 平成23年度に市民活動支援課を設置する狙いは

**市長** ▶ 市民の視点、立場に立った担当とし、市民生活の諸課題の解決を図る

**市長** ▶ この市民活動支援課は、自治会等の自治振興支援をはじめ、ボランティア、NPO等の活動、男女共同参画事業等の支援を行う係（担当）と人権擁護や消費者相談業務、行政相談や交通安全、防犯対策を担う係（担当）を配置し、市民に直接かかわる業務を一元化することで、市民の視点、立場に立った担当として、市民生活の諸課題を解決する体制づくりを進めるものである。

**山本** ▶ 本市は、これまでの分庁方式による組織運営を来年度からは、本庁方式に改めるのを機会に、組織機構を変更することになっている。組織機構の変更は、市当局において明確な狙いに基づく戦略であるはずであり、市民にとっては、これによって市民サービスがどのように変わるのか、どのようなサービスの向上になるのかが最大の関心事である。そこで、組織機構の変更により、生活環境部が創設され、新たに市民活動支援課が誕生するが、その狙いは何か。

**市長** ▶ 「まちづくり」や地域発展に寄与できる可能性などを研究する

### 竜王赤坂ソフトパークとの産学官連携による「まちおこし」を

**山本** ▶ 今年の大きな出来事は、甲府市役所の職員による「みなさまの縁をとりもつ隊」の「甲府鳥もつ煮」がB1グランプリにおいてゴールドグラプリを受賞したことである。市役所職員が「まちおこし」の取り組みとして民間事業者の利益を誘導し、それが全国でも認められた結果となった。

そこで、本市でも竜王赤坂ソフトパークのサンテクノカレッジや入居事業所の魅力を高めるために、市が積極的なサポートを行い産学官連携による「まちおこし」を行ったらどうか。

**市長** ▶ 竜王赤坂ソフトパークは、学術研究機関等の誘致を進めた地域であり、情報通信関連の専門学校のほかコンピュータの周辺機器開発、ソフトウェア開発、宝飾デザイン、測量コンサルティングなど現在11事業所が入居している。市としては、これまでに以上に相互に連携を図り、情報交換などを通じて企業の特性を生かした「まちづくり」や地域発展に寄与できる可能性などを研究する考えである。



竜王赤坂ソフトパークの一角「サンテクノカレッジ」



■公明党  
藤田 悟 議員

藤田 ▶平成21年から創甲斐教育の取り組みがはじまり、赤ちゃんから高齢者までのすべての市民が心豊かな生活が実感できるまちづくりを推進している。近年、電子書籍の普及や出版社の登場、そして話題のiPadなどの普及によって、こうした電子書籍のニーズは飛躍的に高まると予想される。既に国内でWeb図書館(インターネット)を使用して電子図書(インターネット)を使用して電子図書(インターネット)を返却可能な図書館サービス)を立ち上げている自治体があり、さまざまなメリットもあるが、甲斐市でのこのWeb図書館の導入について所見を聞く。

教育長 ▶今後、県内外の図書館の動向などを注視し検討

甲斐市でもWeb図書館の導入を

教育長 ▶図書館事業は、今年度から竜王図書館で無線LANによるインターネット検索サービスを開始し、利用者の利便性強化を図っている。質問のWeb図書館の導入は、今後、県内外の図書館の動向などを注視し検討するが、現段階では導入の計画はない。



個人PCでインターネット接続が可能となった竜王図書館

国土交通省からの天井崩落事故対策の通達による対応は

教育長 ▶本年度、学校体育館など4か所を改築する

斉藤 ▶大規模空間を持つ建築物の天井崩落事故対策について、平成17年に国土交通省から各都道府県へ通達により、体育館、屋内プール、その他500㎡以上の大空間を有する建築物の所有者、管理者に対し、所定の安全対策を講じるよう指導がされている。本市では、当時この通達に対しどのような対策を講じたのか聞く。

教育長 ▶この通達は、天井崩落の危険性の調査と耐震診断の実施を促進する内容であった。市では、この調査や耐震診断結果等に基づき、新耐震基準より前に建てられた双葉体育館、竜王小学校体育館、竜王北小学校体育館、竜王中学校体育館を本年度、改築することとなった。



■甲斐市民倶楽部  
斉藤 芳夫 議員

斉藤 ▶先日、私は、敷島体育館の現地を確認しているが、天井の化粧板がずれ落ちそうな状況が見受けられ、この化粧板を支える金属製の金具が落下することがあれば、利用者が「げが」をする心配がある。市で何らかの安全対策が必要であると考え、この通達による対応は、

教育次長 ▶この件は、専門業者に調査を依頼し安全確保に努める。

本市の自殺予防対策の考えは

市長 ▶気兼ねなく相談できる体制づくりの強化が必要

藤田 ▶私自身が1か月ほど前に知り合いの高校生が自殺するというショッキングなことがあり、家族や周りの人が自責の念にさいなまれ非常に多大なダメージを受けることを目の当たりにした。本市の過去の統計では、交通事故死の約7倍の人が自ら命を絶っている状況であり、死亡原因の5番目に挙げられているこの自殺予防が、交通事故ほど官民一体となつての取り組みがされていないように感じる。そこで本市での自殺予防対策について所見を聞く。

市長 ▶県内では、県を中心に自殺予防推進大会、普及啓発事業、相談窓口の広報、心の相談ダイヤルなど、さまざまな取り組みが行われているが、自殺者の減少につながっていないのが現状である。自殺予防は、社会全体の問題として取り組む必要があり、悩んでいる人が気兼ねなく相談できる体制づくりの強化が必要であると考えている。

斉藤 ▶現在、工事中の竜王小学校体育館のみ、アリーナ部分に敷島体育館と同じような天井があるが、国土交通省で指導している耐震設計の仕様になっているのか。

教育長 ▶国から指導通達された技術的助言に基づき、設計を行っており各種の崩落対応がなされた耐震設計の仕様となっている。

斉藤 ▶耐震設計の仕様になっていても、設計士の現場管理が適切に行われているかを職員がチェックする必要があるため、市役所内に知識のある専門職を配置することを要望する。



2月末完成予定の竜王小学校体育館



■ 楓新クラブ  
有泉 庸一郎 議員

### 度重なる市職員の不祥事の再発防止は

**市長 ▶ 全職員が心機一転公務に励み、市民の信頼を築く決意でいる**

**有泉 ▶** 最近、不幸にも連続して市職員の不祥事が発生している。もちろん個人の責任であるが、組織としての対応も求められる。過日、市長や部長から遺憾の意の表明や謝罪があったが、今後どのように倫理意識の啓発および不祥事の再発防止を進めていくのか。

**市長 ▶** 先般、発生した度重なる不祥事に対しては、改めて市民の皆さまにお詫びを申し上げるとともに、再発防止に向けて、全庁を挙げて綱紀粛正に取り組んでいる。再発防止に関しては、10月には部長会議、11月には課長以上の全管理職に対し、公務員として原点に立ち返り、職務に専念するよう訓示を行った。また、12月1日の飲酒運転撲滅宣言および年末の交通事故防止県民運動開始式には、市役所全職員に参加を促し、今回の事件の反省とともに、交通安全意識の高揚を図った。さらに、職場の教養に関する冊子を活用し、12月からは各部署の朝礼において、今日の心がけを輪番制で朗読し、倫理意識の高揚を図っている。市民の皆さまの信頼を取り戻すことは、容易ではないが、改めて市民の模範となるよう、全職員が心機一転公務に励み、信頼を築く決意を持っているところである。



職場の教養を活用した朝礼の様子

**有泉 ▶** 現在、県道は各地で歩道の整備が行われている。工コ社会の実現に向けて、今後の歩道の重要性は増すものと思う。また、子供や高齢者のためにも、安全・安心な歩道の整備が必要であるが、市内の歩道の現状と整備状況は、また、通学路の安全確保は。

**教育長 ▶** 通学路の歩道、信号機、道路標識などの整備は、学校、PTAなどによる通学路の安全点検の結果等に基づき、関係機関に改善要望している。

**市長 ▶** 市内の歩道の現状と整備状況は、国道20号線、国道52号線および主要地方道甲府芦安線などの交通量の多い幹線道路には、両側歩道や片側歩道が設置されている。市道で歩道が整備されているのは、竜王田中線、開発1号線など115路線であり、また学校周辺の道路を中心にグリーンベルトを16路線に設置し、歩行者が安全に通行できるように努めている。

### 児童・生徒の通学路の安全確保の状況は 教育長 ▶ PTAや地域住民などの協力により安全指導している

### 第2次行政改革大綱は市民負担の増加とならないか

**市長 ▶ 市民の視点でサービスの向上を目指す**

**池神 ▶** 平成22から27年度の第2次甲斐市行政改革大綱では、「行政サービスの見直し」、「市民視点でのサービスの向上」、「企画から実施までできる最大限市民を巻き込んで進める」、「民活の導入・受益者負担や補助金の見直し」を掲げているが、これらは結局、市民負担が増えることにならないのか。

**市長 ▶** 本計画の行政サービスの見直しは、竜王庁舎増築に伴う総合窓口サービスの実施、納税者の利便性を図るためのコンビニ収納、税の休日・夜間窓口サービスをはじめ、サービスの向上と経費節減を図るための指定管理者制度の導入など市民の視点でとらえたサービスの向上を目指すものである。また、受益者負担や補助金の見直しは、公平性が図られるよう受益者負担の原則に基づいた負担や補助金では、必要性や効果、終期の設定や補助団体の活動実態などの観点から見直しを行うものである。

**池神 ▶** 日本人の女性の平均寿命は22年間連続して長寿世界一であり、世界でも高レベルの健康水準を維持しているが、がんや生活習慣病、寝たきり、認知症などの高齢化に伴う障害も増加している。そこで、本市の健康増進計画「健やかか21」がどのように進んでいるのか聞く。

**市長 ▶** この計画は、「みんな目指す心とからだの健やかライフ」を基本理念に、子ども、働き盛り、高齢者のそれぞれの年代に沿った目標を掲げ、栄養、食生活、身体活動、運動を重点に取り組むこととしており、平成24年度の目標値が達成できると期待している。

**市長 ▶ 家庭、地域、学校や職場、行政が相互に連携**

### 健康増進計画「健やかか21」の進め方は



■ 甲斐市民倶楽部  
池神 哲子 議員

### 学童保育の対象年齢拡大を

**市長 ▶ 今後も現状どおりの事業を継続**

**池神 ▶** 現在、学童保育の対象は、小学3年生までであるが、4年生までに年齢拡大できないか。

**市長 ▶** 小学4年生からは、学童保育から自立するケースが定着しているため、今後も現状どおりの事業を継続する考えである。



学童保育の様子（敷島ふれあい中央児童館）

農業振興のため  
農業後継者の育成対策を

**市長**▶農作物のブランド化によって  
新たな担い手確保につなげる

**清水**▶全国的に農業従事者は高齢化しており、本市も例外ではなく、高齢化している現状である。本市の第1次甲斐市総合計画では、認定農業者数の目標値を平成27年度に50人としているが、平成16年の現況値は20人で平成21年度の実績値は20人であり変わっていない。市長の尽力により、赤坂地区でのトマトの水耕栽培や菜の花プロジェクト事業により農地の耕作放棄地解消策など、農業振興策を進めているが、今後の農業後継者の育成対策について聞く。

**市長**▶本市では、新たに赤坂地区の活性化事業（トマトの水耕栽培）や菜の花プロジェクト事業に取り組み、荒れた農地の解消に努めながら農業への関心を高めるとともに、農作物のブランド化によって消費の拡大を目指している。この地域で生産する野菜や果樹などの農作物を「赤坂ブランド」として、地域のイメージを高め、付加価値の高い農産物とすることで、新たな担い手確保にもつながるものと期待している。



■ 颯新クラブ  
清水 正一 議員



消火栓付近にあるホース格納庫

消火栓の消火器具格納庫は、分かりやすい表示を

**市長**▶消火栓と離れている場所は、表示を工夫する

**清水**▶先月、榎西区で火災が発生し、近くの元消防団員が消火作業に当たったが、その際、道路の消火栓はすぐに見つかったが、消火器具の格納庫が離れた場所にあり、なかなか見つからなかったと聞いている。たまたま元消防団員の方であったので格納庫を見つけることができたが、一般住民であれば見つけるのは困難であったと思われる。については、分かりやすい表示板の設置をお願いしたいが対応を聞く。

**市長**▶消火栓キーやホースなどを収納している格納庫は、消防法施行規則で設置基準が定められ、おおむね5m以内に設けることとなっている。場所によっては設置スペースの確保が難しく、基準より若干離れた場所に設置するケースもあるが、分かりにくい箇所は有事の際に混乱があってはいけないので、今後、消火栓の点検に合わせ表示を工夫するなど対処する。

甲斐市のイメージアップ事業は何か

**市長**▶「竜王駅」を核とした事業や  
「赤坂とまと」のブランド化

**坂本**▶市民が甲斐市に住んでいて良かったと感じるような本市のイメージアップつながる施策で、これは県内外に発信すれば、イメージアップになるという施策はあったのか。

**市長**▶市のイメージアップを図る施策としては、世界的建築家、安藤忠雄先生の設計による斬新なデザインの竜王駅は、県内外から注目され、駅そのものが高いPR力を秘め、本市の顔としての役割を担っているものと考え、竜王駅を核とした事業に取り組んでいる。本年は、竜王駅魅力発信協議会が、11月から南北駅前広場のイルミネーションや12月には、ライブコンサートなどのイベントを開催し、



■ 颯新クラブ  
坂本 一之 議員



ブランド化を目指す3種類の「赤坂とまと」

新聞やテレビでも取り上げられ、広くPRすることができた。また、赤坂地区のトマトの栽培も事業が順調に進捗し「赤坂とまと」のブランド化を目指している。今後は、これ以外の市内の資源の有効活用や特色を生かした事業展開を図り、県内外に向けてイメージアップを図る考えである。

甲斐市の「木」「花」「鳥」の制定を

**市長**▶合併の10年の節目で制定したい

**坂本**▶合併前、三町では、それぞれで「町の木」「町の花」などが制定されていたが、市のイメージアップのため、甲斐市の「木」「花」「鳥」などを制定する考えはあるか。

**市長**▶甲斐市の木などの制定は、合併時からの懸案事項として認識しており、合併の10年の節目を迎えるタイミングで制定したいと考えている。

6次産業化農業と  
地域ブランド・ツーリズムの連携を

**市長**▶今後、調査・研究をしたいと考える

**坂本**▶市の産業振興については、甲斐市の地域資源や特性を生かし、6次産業化農業（生産、加工、販売、サービスまでを一体化した農業）という分野と地域ブランド・ツーリズム（地域に体験、交流の場を設けて旅行者を迎え入れるサービス）を連携させた分野が、最も適し、これから成長される分野と考えるが、見解は。

**市長**▶現在、本市では、NPO法人の協力を得て「ちいさな旅」やJRの実施する「駅からハイク」、市内のワイナリーと連携した「味覚探訪ツアー」など地域資源を活用した交流事業を実施している。今後は、これらのほか、耕作放棄地解消対策事業で特産品化を目指す「赤坂とまと」などの事業を進めているので、質問の農業と関連する新たな産業分野の結びつきによる産業振興は、調査・研究する考えである。



松井 豊 議員  
日本共産党甲斐市議員

### 国民健康保険税の値上げは中止すべき

市長▶今後の医療費の動向などから改正が必要か見極める

**松井**▶ 国の調査結果から本市の最低生活水準未満の世帯は4,250世帯（国保世帯の4割弱）と推察されるが、国保税の減免適用は十分であるか。

**市長**▶ 国保税の減免は、市の減免取扱要綱に基づき納付相談などで生活状況を調査し、適正に運営している。

### 住宅リフォーム助成制度の実施を

市長▶今後、県内の動向などを注視する

**松井**▶ 地元業者への発注を条件にした住宅リフォーム

助成制度は、全国137区市町村で実施され、宮古市（右手県）では補助金の4.5倍の経済波及効果を生み出している。この制度を本市でも実施しては、

**市長**▶ この制度は、国の緊急経済対策交付金等を活用し

実施している自治体もあるが、県内では実施されていない。今後、県内の動向などを注視する考えである。

### 新山梨環状道路「北部区間」の建設は中止すべき

市長▶地域の理解を得ながら事業化を要請していく

**松井**▶ この事業は、国の借金が870兆円に及び今後の人口や車の減少が見込まれる中で、わずか15kmの道路に1,150億円（県負担400億円）の巨費を投じ整備する必要があるのか。

**市長**▶ 国は、平成42年の交通量推計値で新山梨環状道路北部区間は、2万1千台から2万8千台と見込んでいる。これにより、市内の主要幹線道路の渋滞緩和につながるものと想定している。



園児自作の紙芝居の発表（竜王北保育園）

### 子ども医療費窓口無料化を中学生まで拡大を

市長▶来年度は、現行制度を維持する

**松井**▶ 中学生までの子どもを持つ特に支援が必要な「低所得」、「生活困窮」、「多子」、「母子」、「障害者」世帯に対する医療費助成による支援は、

子どもを持つ特に支援が必要な「低所得」、「生活困窮」、「多子」、「母子」、「障害者」世帯に対する医療費助成による支援は、

**市長**▶ 生活保護世帯には、窓口無料で医療扶助を行っており、母子世帯には、窓口無料で医療費の助成を行っている。

今後の医療費助成は、次世代育成支援計画を新たに策定する際に検討する。

### 犬の住民票発行の考えは

市長▶登録犬の情報はコンピューター処理で対応している

**名取**▶ 東京都の板橋区では、飼い犬の登録をしている区民を対象に犬の住民票の発行をしている。飼い主に登録を促すことで、狂犬病予防ワクチンの接種率をアップできると思うが、本市でこの制度を取り入れる考えは。

**市長**▶ 板橋区では、犬の登録率と予防接種の増加を図る試みとして、平成22年1月から犬の住民票を発行する事業を始めた。はがき大の用紙に犬の名前や住所、生年月日、毛色、登録番号などを記載したものを発行し、飼い主がこれに愛犬の写真を張り予防接種の記録や愛犬のコメントなどを書き込めるようになっている。本市では、登録犬のさまざまな情報をコンピューター処理しているので、犬の住民票発行という考えはない。



東京都板橋区の「犬の住民票」

### 高齢者世帯への木造住宅耐震シエルターの補助は

市長▶工事費の3分の2以内（上限額24万円）を補助

**名取**▶ 今後、30年以内に震度6弱以上の地震が起きる確率が55.3%とされているが、高齢者世帯を守るための耐震シエルター設置に係る市の補助制度は、また、申込みの状況は。

**市長**▶ 本市の木造住宅耐震シエルター設置事業は、倒壊の危険性があると判断された個人木造住宅へのシエルター設置工事に対して、65歳以上の高齢者世帯は、補助対象経費の3分の2以内で上限額24万円、一般世帯は、補助対象経費の2分の1以内で上限額18万円を補助する制度となっている。なお、平成22年11月末現在では、まだ申込みはない。

### 小学校からの法教育の目指すものは何か

教育長▶よりよく生きる態度を養うことを目指している

**名取**▶ いよいよ平成23年度から社会支える知恵を育てる「法教育」を社会科の中に位置づけた新学習指導要領が小学校から全面实施される。本市では、子どもたちに法教育をどのように教育するのか。

**教育長**▶ 小学6年生の社会科では「暮らしの中の政治」という単元で、国の政治の仕組みと税金、日本国憲法、国民の権利と義務、裁判員制度など、政治や憲法と私たち国民とのつながりを学習し、中学3年生の社会科公民分野では「私たちと政治」という単元で、国民生活と政府の役割、人間尊重と日本国憲法の基本原則などを学習する。

## 厚生環境常任委員会

Shisatsu Kensyu Report

## 視察研修レポート

平成22年11月8日 神奈川県藤沢市  
子育て情報ネットワーク事業

11月9日 神奈川県秦野市  
ほほえみ(ごみ)収集事業

### 1日目

藤沢市では、平成20年からNPO法人と協働で「子育てネットワークふじさわ」を立ち上げ、子育て情報のホームページを開設し、イベント情報や公園マップなど子育て関連の情報提供を行なっております。また、行政と市民団体が協働で行う相互提案型協働モデル事業「子育てメールふじさわ」では、平成18年4月より「GPS機能付き携帯電話を活用した防犯システム」を利用し、子育て情報の発信を行ない地域全体をサポートすることで、子育て支援の充実を図っております。

藤沢市が同事業に取り組んだ背景には、「愛と信頼にあふれる子どもたちが、健やかに育つまちふじさわ」を将来像に掲げ、子育てにおいて、拠点型支援サービスを利用できない人が存在し、行政の支援等からの孤立による子育てに対する不安からますます少子化が進み、核家族化など地域社会の崩壊の危機や経済不安が高まるなか、子育て中の親・子を対象に安心して子育てができる情報の充実と提供、並びに親同士の交流を図ることを目的に計画したとのことでした。

いる状況であります。

「ほほえみ収集」は、高齢者や障害者が、階段や坂道、健康状態などから自分でごみを収集場所まで出すことができないとき、市清掃事業所の職員が自宅まで収集に行くシステムです。ベテラン職員が2トントラックを使用し、火曜と金曜の週2回、玄関前か敷地内からごみ収集を行なっております。秦野市の高齢化率は平成22年度で20.9%、平成25年度には24.2%を見込んでおります。同事業を実施することで、高齢社会への福祉サービスの向上を図っております。現在は96世帯が登録し収集車1台で対応しているとのことでした。

### 研修を終えて

次世代を担う子供たちは宝物であります。世代を超え、地域全体で子どもの育成を支援することは重要であると考えられます。本市も、先進自治体の事業成果を踏まえ、少子高齢化支援策の向上を図ってまいります。

【委員長 込山伸一 記】



「藤沢市」視察の様子

## 総務教育常任委員会

Shisatsu Kensyu Report

## 視察研修レポート

平成22年11月4日 新潟県三条市  
地域児童見守りシステム

11月5日 新潟県新潟市  
プリペイド方式による学校給食

### 1日目

三条市の「地域児童見守りシステム」は、ランドセルに付けたICタグによって児童がいつ、どこを通過したかが学校および保護者にメールで知らされる。また、不審者が出た場合には、ICタグのベルを押し続けることによって、防犯ベルにもなるし、その場所がメールで知らされ、先生方や登録されている地域ボランティアの方が瞬時に駆けつけることができる。昨今、子どもたちの安全が脅かされているので、特に共働きの家庭には遠くにいながら子どもの安全を確認できるという点では、画期的なシステムといえます。ただし、ICタグが少し大きすぎてランドセルに付けたままの状態なので、本当は、学校から帰ってきた後、外に遊びに行くときにも持つていけるようなら、もっと活用が広がるのではないかと感じました。甲斐市でも「甲斐っ子安心メール」があります。それは、不審者情報を保護者にメールするという点では、似ているが、要は、こういうメールが流れないことが一番であり、こういう取り組みを行っていいことであるという抑止力につながってほしいと思います。

### 2日目

新潟市の「プリペイド方式による学校給食」は、あらかじめランチカードに必要な金額だけをポイントとして購入して、そこから給食を予約するというものです。生徒は、今まで通り、自宅からのお弁当か給食かどちらかを選ぶことができ、しかも給食は、メニューも選ぶことができます。このように画期的なものです。このカードの利点は、給食費の滞納がないこと。それは、事前購入だから滞納しないし、業者が直接生徒から徴収するので先生の手を煩わすことがない点にあります。また、このカードでは、ポイントを購入しないと食べ



「新潟市」視察の様子

られないので、生徒自身や家庭に責任を持たせている点もあげられます。ただし、お弁当を忘れたり、給食の予約を忘れた場合も自己責任であると担当者は言っていました。それは、お弁当からプリペイドカードによる給食への切り換えだったので、生徒の昼食は、家庭で用意するものだという土壌があったからと言えるのではないのでしょうか。

甲斐市の学校は、全校給食であり、給食費の滞納も課題になっています。このシステムを利用すれば、滞納という問題はなくなるが、今まで給食は、行政で用意するのが当たり前だという考え方があるので、滞納しても生徒が食べられないということはない。ですから、各家庭の認識が、生徒の昼食は、家庭の責任で用意するというのをもう一度再認識していただかないと本市では、難しい感じがしました。

### 研修を終えて

今回の先進地事例を参考にしながら、本市の環境にあったものを採用して、より良いものを作り上げていきたいと考えています。

【副委員長 坂本一之 記】

### 2日目

秦野市では、平成14年7月から、ごみや資源物を収集場所まで出すことが困難な高齢者、障害者らの世帯に対し、戸別収集サービス事業を実施しています。ごみ収集だけでなく、一声掛ける安否確認も行い、利用者から「ありがたい」と喜ばれているとのこと。事業実施より9年目を迎え、利用世帯は3倍に増え、高齢化社会を反映して、利用者は今後もますます増加する見込みで、行政も対応を迫られて

## 議会広報常任委員会

Shisatsu Kensyu Report

## 視察研修レポート

平成23年1月20日 神奈川県小田原市  
1月21日 神奈川県茅ヶ崎市

議会だよりの編集  
議会インターネット配信

本市議会では、来る3月定例会より、本会議のライブ中継をインターネットで配信します。担当として準備を進めてきた本常任委員会では、インターネット配信の先進地を視察してきました。

### 1日目

小田原市議会は、平成20年度よりインターネット中継を導入し、現在3年目となっています。

定例会のライブ中継の平均アクセス数は、約1,300件あり、このシステム導入後の議場での傍聴者数に大きな変化はないことから、結果としてインターネット分は、確実に傍聴者が増加したものと考えられます。

また、市議会だよりを集客力のある店舗や金融機関など多くの公共施設に設置するなど、開かれた議会運営に力を入れるほか、議会だよりに開けられている綴じ穴を廃止するなど経費の削減に取り組んでいました。経費を掛けずともできる広報活動に前向きに向き合っている小田原市議会には、見習うことが大いにありました。



「小田原市議会」視察の様子



「茅ヶ崎市議会」視察の様子

### 2日目

茅ヶ崎市議会のインターネット中継は、平成17年度より開始されており、その平均アクセス数は約1,600件で、録画配信のアクセス数を合わせると平均7,000件ほどとなっています。

同市の特色としては、ライブ中継を配信した当日の夜には速報版（録画）を配信しており、その翌日には、編集を加えた（発言のない部分などを削除した）録画データを配信しています。この配信では、会議名、議員名や発言内容から映像の検索が可能で、同じサイト上にある会議録（文字）と同時に視聴が行えるようになっています。議会事務局の職員数などを考えると、速報版や翌日配信の対応は、本市議会では難しいように感じました。

### 研修を終えて

本市議会では、初めての試みである議会中継を行う上で、両市の先進事例は、大いに参考となるものでした。開かれた議会活動を行うために、この常任委員会に課された役割の重要性を改めて感じました。

【委員長 長谷部 集 記】

## 建設経済常任委員会

Shisatsu Kensyu Report

## 視察研修レポート

平成22年11月1日 東京都  
都市計画道路事業ほか

11月2日 千葉県君津市  
野生猿鹿猪等被害対策事業



東京都都市計画道路「調布保谷線」現地視察の様子

**1日目**  
午前中は、東京都の北多摩南部建設事務所が進めている都市計画道路事業を視察しました。多摩地域を南北に結ぶ都市計画道路の調布保谷線の経緯、経過等を現地において担当者から懇切丁寧に説明を受けました。特に印象に残ったのは、整備にあたっては「住民協議会」を立ち上げる中で、住民の皆さまのご意見やご要望を何回も伺いながら進めた点です。また、この地域は武蔵野の面影を残す非常に環境の好い所なので、完成後も維持管理において住民ボランティア

**2日目**  
2日目は、千葉県君津市の野生猿鹿猪等被害対策事業を視察しました。君津市は、房総半島のほぼ中央に位置し、面積は甲斐市の4倍強で、東京湾に面した北西部は世界にも冠たる君津製鉄所と市街地が広がり、内陸部の東部、南部は2つの河川沿いに肥沃な農地が開け、恵まれた環境になっています。農地は、房総の山々に接し、有害

ティアの協力を得ているとのことでした。まさに市民との協働の大切さを認識させられました。  
午後からは、東京スカイツリーのお膝元である押上・業平橋地区活性化協議会の活動を視察しました。東京スカイツリー周辺を踏査後、協議会の活動拠点である「おしなりくんの家」で、青年部会の会長（老舗の蕎麦屋の若旦那）より説明を受けました。  
まちおこしについて、本市の竜王駅周辺にも重なる部分もあり、活発な意見の交換がありました。印象的であったのは、商店街の活性化には若者のリーダーシップと情熱が重要だとのことでした。

**研修を終えて**  
2日間の研修を通して感じたことは、行政、議会、市民が一体となった協働の大切さです。お互いに共通の理解、認識をもって事にあたれば必ず明るい未来が拓けるのではないのでしょうか。  
【委員長 有泉 庸一郎 記】



君津市「大型囲いわな」現地視察の様子



## 講演会(議員研修会)を開催しました!

昨年11月26日午後、本市議会が主催し、竜王図書館2階視聴覚室でヴァンフォーレ甲府ゼネラルマネージャーの「佐久間 悟」氏を招き講演会を開催しました。当日は、市役所管理職をはじめ多くの市民の方々にご参加いただき、大変熱い口調で語りかけてくる講師の魅力に引き込まれました。

講演会は、「V F 甲府が地域社会に果たす役割」と題し、組織の運営や地域との関係など、佐久間氏の経験に基づいた話を聞かせていただきました。V F 甲府が続けている地域に根ざした活動は、市政にも大変参考になり、そして参加していただいた市民の皆さんにも大いにご満足いただけたことと思います。



### 議会だよりの表紙写真を募集しています!

あなたの撮ったカラー写真で表紙を飾ってみませんか。



#### 締め切り

平成23年5月6日(金)到着分まで

#### 送付先

〒400-0192 甲斐市篠原2610番地  
甲斐市議会事務局 庶務・議事担当  
Email gikaijimukyoku@city.kaijg.jp



### 議会を傍聴してみませんか!

平成23年第1回定例会の日程(予定) ※日程等に変更がある場合もあります。

開会 午前10時(予定) (3/10は午後1時30分、3/18は午後2時を予定)

月	日(曜日)	内容
2	25(金)	本会議(開会)
	28(月)	常任委員会 (厚生環境・建設経済)
3	1(火)	常任委員会(総務教育)
	3(木)・4(金)	本会議(代表質問)
	7(月)・8(火)	本会議(一般質問)
	9(水)・10(木)・11(金)	特別委員会(予算審議)
	14(月)・15(火)・16(水)	特別委員会(予算審議)
	18(金)	本会議(最終日)

※お気軽にお越しください。(定員51名)

### 詳しくは、

市議会ホームページ  
または議会事務局まで  
お問い合わせください。

TEL (055)278-1673  
ホームページアドレス  
<http://gikai02.kaigiroku.jp/kai/>

議会広報常任委員として、県外の複数の市へ視察に行ってきました。改めて甲斐市の議会広報誌は充実していて、レベルが高いと感じました。それでもそれぞれの市で工夫もあり新たな学びも多く、さらに充実した紙面になるよう努力を重ねていきたいと思っています。

こうして広報誌の充実は言うまでもありませんが、3月議会からいよいよ、インターネット中継が本格的に開始され、誰でも簡単に議会の様子を知ることが出来ます。議会改革に新たなページが記されます。皆さまぜひご視聴いただき、そして多くの声をお寄せください。どうぞ宜しくお願いいたします。

【藤田 悟 記】

### 編集後記

## 議会運営委員会

Shisatsu Kensyu Report

## 視察研修レポート

平成23年2月3日 埼玉県鶴ヶ島市  
議会基本条例に市民の意思を反映

2月4日 千葉県松戸市  
常任委員会での政策提言



「鶴ヶ島市議会」視察の様子

円滑な議会運営を行うため、議会運営委員会が設置されています。今回は、議会報告会を開催し、市民に広く議会の活動をPRしている鶴ヶ島市議会と各常任委員会が、執行部に対し政策提言を行っている松戸市議会の視察研修を行いました。

**1日目**

鶴ヶ島市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、人口約7万人、都心から45kmと恵まれた条件にあることから近年人口が急増している市です。

同市議会では、「もつと身近な議会へ」「もつと確かな議会へ」をキヤッチフレーズに議会改革を進めてきたとのことであり、これまでに議員定数の削減、一般質問の一问一答方式の導入、本会議のインターネット

ト配信、議案審議の内容などを市民に報告する議会報告会の開催、議会基本条例の制定などの改革を行ってきました。

また、議会基本条例の成案作成にあたっては、議員全員の同意が得られる内容であることや、市民の意見募集、公聴会の開催など市民の意見を聞き、条例に反映させるなどの配慮をして進めたとのことでありました。

**2日目**

松戸市は、都心から20km、人口約48万人、「すぐやる課」の設置で有名な市です。

同市は、「議会報告会」を除き鶴ヶ島市と同様な改革を行ってきたとのことですが、特に他市と違った取り組みとして、請願・陳情の審査において委員間の意見交換を深め活性化するために、フリートーキング制を設けていることです。

また、常任委員会自らが市政に関する課題を選び出して、そのテーマに対し閉会中も継続的に調査を続け、意見集約ができたものは、議会の意思として議決し、執行部、市民に議会の意思を発信していくという先進的な取り組みをしているとのことでありました。



「松戸市議会」視察の様子

### 研修を終えて

本市議会でもこれまでに、議員定数の削減、一般質問の一问一答方式の導入などの改革を実施してきました。また、この3月議会からは、インターネットによる本会議のライブ中継を行っていきませんが、委員会活動のあり方や議会基本条例の制定などは、これからの検討課題となっています。先進2市の改革推進状況について話を聞き意見交換することができ大変参考になりました。今後の本市議会の改革に活かしていきたいと考えています。

【副委員長 米山 昇 記】

# 市民の声



## 議会傍聴に向け 甲斐雑感

平林 久芳  
(富竹新田)

平成23年も大きな太陽に恵まれ、明るい夢と希望に満ちた良い年であることを望む。GNPがどうであれ、自分の国を思い、神国、日本を大きく明るい国にしたいことは、誰しもの願いである。

そんな平和の国を築きながら最近、日本には何かが欠けている。経済が大きくなり過ぎて、一人ひとりの心に隙間ができ、他人を思いやる気持ちが希薄で、児童虐待や殺人と言う不名誉な記事が連日賑わっており、世の中の発展と人の心のバランスが、ひずみにあるのか誠に残念である。日本人である以上、必ず取り戻すことができる一人ひとりが前をしっかり見て、目的を持って生きるべきではないか。

そんな小さな願いを込めて、甲斐市の表玄関「竜王駅南口」を中心に一昨年前から地権者の協力を得ながら大きな輪になるよう夢見て朝市を開いている。宝の持ち腐れにならぬよう単発的なイベントでなく、長期的に計画し、せっかく大きな甲斐市になったのだからこそ、立派な街づくりを官民一体で行い、近い将来、県内をリニアが走る時代には、竜王駅を起点に経済・文化・芸術・観光のなお一層の発展を願うところである。

議会では、インターネット中継もはじまると聞くが、私は、これまで同様に議場まで足を運び傍聴席から議員の活躍を応援したい。



## 夢と希望を 初夢にのせて

石原 茂生  
(西八幡)

地方の自立や地方分権といった国から地方への流れは時代の趨勢となっています。

宮崎、大阪、名古屋等の個性的な首長の活躍が脚光を浴びているのが象徴的です。

地方の住民にとっても国や世界の動きに無関係・無関心では済まされない時代背景の中で、甲斐市の未来も難しい舵取りが必要とされていると思います。

私の今年の初夢には、希望と夢にあふれた多くの若者に囲まれて元気に活動する十年後の自分の姿がありました。

自然豊かな郷土に、日本中のみならず、諸外国から多くの青年達が集い、学び、育ちゆく、教育都市、国際文化都市の姿が、そこにはありました。

甲斐市は誕生して間もない若い町であり、これから成長しゆく希望の町です。世界的不況や老後の不安といった暗い話題に感覚も麻痺しがちですが、少子高齢化を乗り越え、真の自立した、生き甲斐都市への変貌を望むのは私ばかりではないと思います。

未来が永遠に続くのであれば、信玄堤が今に続くが如く、十年後、百年後の姿を見据えた、明るいビジョンを示し行動する若い議員さん方に多いに期待し、将来を託したいと思います。

## 有料広告募集のお知らせ

(掲載スペースはこの枠および右枠の2枠)

甲斐市議会では、議会だより発行のための財源確保と地域経済の振興を図ることを目的に議会だより有料広告の掲載を行います。

掲載をご希望される企業・事業所などは、議会事務局(055-278-1673)までお問い合わせください。

## 有料広告掲載料

1枠につき 1回 20,000円

### ◆議会だよりの概要

- ・配布部数:市内全戸配布26,200部+公共施設等
- ・発行回数:年4回(5・8・11・2月の25日)
- ・次回(平成23年5月)発行分の募集期間:

平成23年3月1日(火)~4月25日(月)

### 議会広報常任委員会

委員長	長谷部 集	委員	松井 豊
副委員長	込山 伸一	委員	藤原 正夫
委員	藤田 悟	委員	池神 哲

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。

HPアドレス <http://gikai02.kaigiroku.jp/kai/>